

樹 姉 ば よ り

No.134
2015.12



慈 悲 喜 捨

昨日といひ
今日とくらしめてあすか川
流れてはやき

月日なりけり

『古今和歌集』春道列樹
昨日と言ひ今日と言つて
日々を暮らし、明日はもう
新年を迎える。飛鳥川の流
れが速いように、あつと言
う間に過ぎ去つてゆく月日
であることよ、の意。

昨日はこうだった、今日
はこれをしないといけな
い、明日にはこの予定があ
るといいながら、あつとい
う間に月日がたつてしまつ
た……いつの世も人はこの
思いを繰り返すでしょう。

古代の日本人は時間を循
環するものと捉えていまし
た。新年になることを「年
たちかへる」と言い慣らわ
し、また新しい出発点に
立ったと考えていました。
しかし、同じ時間を、また、
やり直せるものではありません。
年の一巡ごとに生き
物はひと刻みずつ確実に年
を取り、古い、命の終わりに
近づいてゆくものです。
かつては大晦日の夜を年
取りの晩と呼びました。陰
暦時代の習慣では、個々の
誕生日ではなく年が変わつ
て暦が新しくなる時に、皆
が一斉に一つ年を取りまし
た。暦の更新が人の加齢に

直接関わるので、その伝統
の上で、年末に寿命を思い、
命そのものに思いを致すの
は自然なことと言えましょ
う。また、歳末は大きなけ
じめの時期で、やがて来る
新年を控えて片づけられる
仕事を片づけ、ものごとに
決着をつけるのを急ぎまし
た。歳末は、さまざまなか
とが終る時期と考えられ、
何ごとにつけても「終わり」
が強く意識されたのです。

そのように考えると、今
日でも、この月日のひと巡
りが終わる歳末には、いわ
ゆる年末年始の準備に伴う
生活上の繁忙に加えて、知
らず知らずにも命の残りを
も思つての、せわしなさが
添っているような気がしま
す。そして、寿命のことを
思うと、人は敬虔な気持ち
になるのでしょうか。細く長
いことから延命・長寿を
願つたものであるとする大
晦日の年越しの蕎麦や除夜
の鐘を聞きながら一年の汚
れを払い落とし、浄らかな
身で神仏にお参りをするの
は、そのためでもあるので
しょう。

年末らしい寒さも加わ
り、今年の残りの日数もわ
ずかになつてしまいまし
た。皆さまどうぞよいお年
をお迎え下さい。

教頭 尾内 正彰

全国に羽ばたく 樹徳生

明照学園理事長
野口 秀樹



早いものでもう年の瀬、今年も終わってしまいました。皆様、一年間大変ありがとうございました。

十一月は生徒の頑張りに対し、至るところでお誉めの言葉を頂戴しました。

十一月十四日(土)、部員数六十名を抱える樹徳高校理科部が、NHK朝七時の「NHKニュース おはよう日本」に、約一分程度でありましたが生出演いたしました。これは、東京お台場の日本科学未来館で開催されていたサイエンスアゴラ2015で「おもしろ化学実験、上州座繰り体験(繭から生糸へ、など)」の研究テーマを発表したことが取り上げられたのです。このイベントは二百以上の団体

が参加する、国内最大級のサイエンスイベントだそうです。樹徳高校理科部は、昨年のイベントで「サイエンスアゴラ賞」と「フジテレビ賞」をダブル受賞した実績がありました。

出演した理科部員は部長の多田君(二年)、同じく二年の原君、そして一貫校五年生の戸崎さんの三名でありました。取材に当たってはNHKが前泊の費用を負担してくれました。三人とも初めてのテレビ出演ですから多少あがっていたようです。ですが、立派に対応できていました。

この影響だと思いますが、樹徳のブースには長蛇の列ができてしまい、実験取りやめの指示が出てしまうほど、盛況でありました。

また、同じ施設の別会場で Google Science Jam 2015 が開催されておりました。これはグーグルが主催する、日本全国の高校生、高等専門学校生一年〜三年生を対象にした、自由な発想で科学やテクノロジーの可能性を追求し、世界を変えるアイデアにチャレンジするプロジェクトです。全国ベスト三十に選ばれた学

校がこのステージ研究成果を発表する大会です。なんと本校からは二テーマがノミネートされたのであります。本当に凄い理科部であります。

研究テーマ一
「群馬オリジナル蚕品種ぐんま二百の色繭」
研究テーマ二
「こんにやく飛粉からバイオ燃料」

二つとも、群馬の地域に根付いた研究なのにお気づきでしょうか。ノミネートされた研究テーマは三ヶ月間、メンターと呼ばれる大学院生の協力や指導を頂いて研究を進め、今日を迎えたのです。

そして三十のプレゼンテーションの結果、なんと樹徳高校理科部の研究テーマ「群馬県オリジナル蚕品種ぐんま二百の色繭とこんにやくシルク」がグランプリを獲得したのです。受賞者は一年女子の太田さんと小松原さん、そして、一貫校五年の桑原君です。おめでとう！
副賞として生徒三名がアメリカに派遣されることになりました。グーグルの本社見学や誰でも会いたい人

に合わせてくれる企画があるようです。

また、その一週間前、私は、国立オリンピック記念青少年総合センターに行つて参りました。そこで行われた第三十七回少年の主張全国大会で、樹徳中学三年女子の蓼沼さんが全国の代表十二人に選ばれたからであります。そして私には主催者から招待状が届いておりました。

余談ですが、新宿駅から小田急線に乗って二つ目の参宮橋駅で下車、徒歩十分。学生時代、新宿駅は私の通学範囲でした。だから新宿は私の庭のようなものだったのですが、新宿駅に降りたら浦島太郎状態、方角や窓口がまったくわかりません。小田急線を探すのに苦労してしまいました。

全国五十五万人の中学生参加者から選抜された十二名、この中から内閣総理大臣賞を含む三賞が選ばれているのです。テレビ局も何社も入っており、ゲストとして秋篠宮佳子さまがご出席されています。(佳子内親王は本当に可愛いお嬢様でいらっしやいました)
蓼沼さんは七番目に登

場。表情、声のトーン、間合い、表現力、論旨、ひとさわ輝いています。

聞いていて涙が止まりませんでした。見事な出来映えです。結果は、審査委員長の漫画家・松本零士さん(代表作は銀河鉄道999)がご用意された特別賞を受賞となりました(二名特別賞)五十五万分の五人。

晴れの舞台での受賞、思いつきり拍手して彼女を讃えることができました。

高校生の理科部の活躍、中学生の頑張り、樹徳生が喜びながら全国のステージで輝いてくれております。

最近の樹徳生には「向かう勇氣」がとても強く感じられます。色々なことに、進んで、しかも喜んでチャレンジしている姿を沢山目にしています。これは生徒達が、学校が更に良くなつていく前兆だと受けとめています。これが本物になっていくには、継続していく力が必要となります。

私達教員はそんな環境作りに努めて参ります。今後ともご支援をよろしくお願ひします。

合掌

やるなら決めよ 決めたら迷うな

行事の「？」

十月末のハロウィンパーティーは、かなりの盛り上がりを見せた。筆者のような中年の世代が子どもの頃にはそれほど馴染みのない行事だったが、ここ十年ほどだろうか、すっかり定着したような印象だ。様々な飾り物とともに、仮装パレードであちこちを練り歩く。子どもたちはお菓子をプレゼントをもらい、大人は遅くまで飲んで騒ぐのは、行事のお決まりであろう。それぞれに楽しんでいるようだ。

それはそれでいいのだが、ふと気になったことがある。「ハロウィンって、何だ？」

もちろん、一般的なレベルのことは知っているつもりだ。西欧由来の儀式で、仮装をした子どもたちが「Trick or treat

at（お菓子をくれないといたずらするぞ）」と言って家々を回り、大人たちはお菓子を準備して待っている、といったものだ。おそらく、西欧の「収穫祭」や、「悪魔払い」的なことが起源だろう。つまり、これまでは関係のない行事なのだろう」と考えていたのだ。

ところが、昨今の、この盛り上がりようである。そんな中で、時に戸惑い、あるいは違和感を覚えることがある。それは、「何のために、われわれがこの行事をするのか」ということだ。ニュースで、仮装行列に参加している人へのインタビューが流れた。二十代の若いお嬢さんだ。ドイツニアニメのキャラクターの格好をしている。「その仮装はハロウィンとどういう関係が？」と聞かれ、「よくわからないけど、好きな

仮装をすればいいんだと思ってる。」と、両手でピースサインを振り、笑いながら列に続いていった。そこで、思ったのだった。「これって、いいの？」
今、世間はクリスマススの準備に大忙しだ。多くの企業、商業施設で、飾り付けや様々な商品の用意がなされていることだろう。子どもたちはプレゼントに何が欲しいかをピクアアップしつつ、サンタさん（あからさまに親かもしれない）におねだりし、親も、子どものお喜ぶ顔を思い浮かべ、準備に余念がない。
イエス・キリストの誕生（降誕）を祝うこの日（実際は翌年まで続くのが本来だそうだが）が、国を挙げたの一大イベントとして認知されている。若い独身男女には、一年で最も大切な日として意識しているとの意見も多い。それはそれでよいだろう。しかし、イタリアのある雑誌が、日本のクリスマススについて、「人の口のみならずかきキリスト教徒がいらない日本で、多くの人がプレゼントを交換し合っている、男女が愛を語り合うための祭となつていく」と評している。

確かに日本人は、クリスマススを宗教的な行事としてなど捉えていない。単なるイベントであるとの批評は正しいわけだが、そのイタリアを含む多くの国におけるクリスマススの様子をも批判的に見る意見すらある。
「現代の消費社会の中で、この時期が商業主義にいわば『汚染』されているのは、残念なこと。降誕祭の精神は『精神の集中』と『落ち着き』と『喜び』であり、この喜びとは内面的なものであり、外面的なものではない。」

批判はさらに続く。
「クリスマススには聖書を読んで学ぶべきだ。政治や株式など俗世の出来事にどう関わるべきかの啓示は、聖書の中に見つけられる。……貧困と闘わなければならない。資源を公平に分かち合い、弱者を助けなければならない。……クリスマススはとても楽しいが、同時に深く内省すべき時でもある。私たちはつましく貧しい馬小屋の光景から何を学べるだろう。」
この崇高かつ一般人には思いも付かない考え方を示されたのは、前ローマ法王ベネディクト十六世である。ここまでの考えには至れないと思いつつも、決して反論できないのは、やはりこれが真実だからだろう。法王は、日本のクリスマススをどうご覧になったのだろう。

（編集子）



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」 12月の行事予定

- (1)アートスクール「編み組み教室」
主催 野村ナナ子さん 2日・16日(水)
- (2)販売実習（5・19・26日の各土曜日）
 - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
 - ②「星野富弘美術館」取扱い商品
 - ③東北復興支援商品（缶詰等）
- (3)五人囃子展 11日(金)～13日(日)
- (4)特別企画展（昭和の学習教材）
18日(金)～20日(日)

月影杯 今年も盛大に

今年も樹徳高等学校月影杯争奪招待試合が盛大に行われました。

十一月三日(火)には力誉記念講堂にて第三十七回柔道大会、明照体育館にて第三十七回卓球大会が、また、日程を変えて、十四日(出)には力誉記念講堂にて第二十八回剣道大会が実施されました。

- 【柔道】
- 男子
優勝 足利第一中
準優勝 前橋大胡中
第三位 高崎箕郷中
昭和・昭和中
- 女子
52 kg級

- 【卓球】
- 男子
優勝 みどり大間々中
準優勝 前橋桂萱中
第三位 本庄児玉中
奨励賞 藤田康平
(みどり大間々中)
- 女子
優勝 前橋桂萱中
準優勝 栃木都賀中

- 優勝 松田美優
(高崎群馬中央中)
準優勝 佐藤里帆
(伊勢崎宮郷中)
第三位 須藤咲子
(前橋大胡中)
細谷美子
(前橋みずき中)

- 52 kg超級
優勝 小鮎 未来
(高崎群馬中央中)
準優勝 金子綾夏
(高崎箕郷中)
第三位 富澤 沙夏
(榛東中)
野口夕芽
(前橋桂萱中)

- 第三位 みどり大間々中
足利第二中
奨励賞 木嶋美由
(前橋桂萱中)

- 【剣道】
- 男子
優勝 太田藪塚本町中
準優勝 伊勢崎あずま中
第三位 伊勢崎赤堀中
佐野城東中

- 女子
優勝 栃木大平中
準優勝 桐生新里中
第三位 前橋第七中
みどり大間々中



天候にも恵まれ、のべ3,393名のお客様にご来校頂きました。
ご来場ありがとうございました。



月影祭 PHOTO GALLERY



模範唱（6年）



模範唱（4年）



合唱コンクール

十月二十二日(木)、力誉記念館講堂にて合唱コンクールが開催されました。女子部伝統のこの行事、生徒たちは夏休み頃から練習に励

みます。朝夕の学舎に歌声が響く様子は、樹徳の初秋の風物詩です。

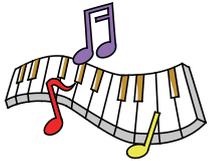
各クラスとも、課題曲と自由曲の二曲を歌います。伴奏や指揮もクラスによってさまざまです。それがまた、それぞれのクラス個性となり、美しいハーモニーとなつてステージから届きます。今年も熱戦が繰り広げられました。結果は次の通りです。

表彰式の様子



- 優勝 一貫校六年
- 準優勝 一貫校四年
- 特別賞

- 総合コース
 - 三年 j 2 組
 - 一年 j 2 組
- 進学コース
 - 二年 k 組
- 個人
 - 荒川 葉月 (二年 k 組)



大川美術館・織物参考館を見学しました

一年生の秋の恒例行事である、大川美術館と織物参考館「紫」の見学が始まりました。大川美術館・織物参考館の見学には、二、三クラスずつが合同で参加します。

桐生市出身の故大川栄二氏が個人のコレクションを中心の開館した同館は、国内外の有名作品を数多く所蔵しています。また、毎年魅力的な企画展も開催しています。生徒たちは館長のお話を伺った後、思い思いに作品を鑑賞します。普段触れることのない絵画や彫刻に、慣れないながらも真剣に見入っていました。テラスでは桐生の町並みを見下ろすことができ、気持ちのよいひとときを過ごせました。

織機の説明に耳を傾ける



織物参考館「紫」は、桐生の織物産業の歴史を織機の歴史を通して学べる施設です。古代から現代に至るまでの織機の進化に、生徒は目を見張っていました。さらに織物体験では、苦心しながら杼を飛ばし、昔の女性の仕事の大変さを実感しました。そして最後に藍染めを体験します。生徒が持参したハンカチを染め、できあがりの美しさに驚きの声が上がっていました。



一貫校

中学校

だより

第七回 月影祭

十月三十一日・十一月一日、月影祭が行われました。実行委員を中心に生徒が主体的に活動し、盛大な二日間にする事ができました。ご来場頂いた方々、大変ありがとうございました。



「月影祭を終えて」

月影祭実行委員長

三年一組 村竹春奈

私は実行委員長として、今回の月影祭運営に携わらせていただきました。今年は、中学生で月影祭を経験している生徒がおらず、私

も具体的なイメージがとれず不安でした。しかし、担当の五人の先生方の的確な指示や助言に実行委員の仲間が耳を傾け、一所懸命に取り組んでいる姿を見て、不安は楽しみへと変わっていききました。今年は部活動での研究発表が主で、各部門も熱心に作業していました。実行委員は部活動に入っている生徒がほとんどなので、当日は部活動に入っていない生徒がサポーターとして手伝ってくれました。手伝いに際しては、実行委員からの急なお願いにも嫌な顔をせず、快く受け入れてくれました。サポーターは、今回の月影祭において、とても重要な存在でした。

全体的に見て、今回改めて感じたことが一つあります。それは、「樹徳生の団結力」です。普段は意見の相違などでまとまらない場合もありますが、何か一つの目標ができると、それに向かって一致団結して問題

を克服する、それが樹徳生です。

この月影祭は私にとって、これまでに経験したことのないものでした。この経験を自分自身の将来にも役立てていきたいと思います。



校内合唱コンクール

○私たち三年一組は、担任の岩上先生から教わった「勝ちにこだわる」という強い意志を持ち、コンクールへ向けた本格的な練習にクラス一丸となって取り組みました。歌が苦手な人も、そうでない人も、勝利に向けて頑張りました。

特に音楽部の人たちがリーダーシップを発揮してくれて、色々な練習メニューを考えてくれました。



た。時には皆の心を一つにするために輪になって歌ったりしました。そのような練習をすることにより、私たちは更にまとまることができました。

そして合唱コンクール当日、私たちは万全の状態でのコンクールに臨みました。歌のメッセージが会場に来て下さった人の心に響くように、そして指揮者・伴奏者を含めた全員がクラスを勝利に導こうという思いで、歌を披露しました。その結果、勝利を手にしたことができとても嬉しかったです。しかし、勝利以上に皆と歌をうたえたことがすごく幸せです。

三年一組 日野幹太

～結果～

- 金賞 3年1組
- 銀賞 3年2組
- 銅賞 2年1組
- 最優秀指揮者賞
3年1組 日野幹太
- 最優秀伴奏者章
3年2組 小林 杏樹



平成 28 年度

樹徳中学校第 2 期入学試験

試験日 平成 28 年 1 月 16 日(土)
出願期間 1 月 6 日(水)～1 月 8 日(金)

樹徳中学校第 3 期入学試験

試験日 平成 28 年 2 月 6 日(土)
出願期間 2 月 2 日(火)～2 月 4 日(木)

お問い合わせ・お申し込みは、

TEL 0277-45-2257

幼稚園だより

師走を迎えて

園庭の木々も紅葉から落葉へと変化し、木枯らしが吹きぬける師走を迎え、今年も残り一ヶ月となりました。楽しい行事が多かった。楽しい行事が多かった。二学期もいよいよまとめの月です。

運動会では、クラスがひとつになつて盛り上がり、団結力を強めた年長さん、心も体も驚くほど成長し、感動の多い日々でした。年中さん、年少さんも行

たのしかったえんぞく★



事ごとに成長し、紅葉の茶臼山登山では、四季の変化を肌で感じながら、自分の足で最後までがんばる姿に、頼もしい成長を見るこ

とができました。

十二月も交通安全教室、成道会(大善寺)、お誕生会、クリスマス会、餅つき大会と楽しい行事が続きますが、一人ひとりの成長を確かめながら、子どもたちの「今」に寄り添い、保育の質を高められる努力を大切に、今年一年を締めくくりたいと思います。

一家団欒の祝福

親も子も親しみかほし

賑わえるこそ

楽しかりけれ

〈明治天皇御製〉

この世の中でさまざまに楽しみがあるが、中でも親子がそろってくつろぎ、むつまじくしていることにまさるものはない。お互い遠



はやくやけなかなー♪

慮しない間でも、尊敬の念を持ち、つらきことも、楽しいことも、共にあじわう親子夫婦のあいだがらは、人間の最もよい感情をあらわにし、この世に天国をもたらすものである。仕事に忙しい人も、時間をつくって楽しむべきものは、一家団欒の楽しみである。(新渡戸稲造著「一日一言」より)

収穫祭

の祝福」となるよう、ご家族で楽しい年末・年始にしていたいただきたいと思いま

サツマイモ掘りの際に年少さんと約束した「焼き芋大会」を、十一月二十四日(火)に園庭で実施しました。

六月に年長さんが苗を植え、草むしりをして育てたサツマイモを、十一月十一日に各学年ごと全員で収穫しました。いよいよ待ちに待った焼き芋です。園庭で燃え上がる火を見ながら、年少さんから年長さんまで一人ひとりが、大きなサツマイモにぬれた新聞紙、さらにアルミ箔を巻きつけ、火の中へ入れました。四十五分後にはおいしい焼き芋が出来上がりました。食べる前に、農業や漁業で働く人、お料理を作ってくれた人に「ありがとう」と言えるといいねと、収穫に感謝して食べました。

「湯気が出てるよ!」「おいしい!」「焼き芋がスイートポテトに大変身しておいしかったよ!」と、甘い香りと、おいしさに大満足でした。自分たちで育てたサツマイモを、自分たちで収穫し、焼き芋にして食べた体験や味は忘れられないことでしょう。

このような体験をこれからも大切にして、感謝(思いやり)の気持ちや感性・情操の育成に努め、健やかな成長を支援していきたいと思います。

幼稚園長 瀬谷 茂

入園児募集中

(入園願書受付中)

◎募集人員

・満三歳児(二歳以上) 一〇名

・年少 四〇名

・年中、年長 若干名

◎十二月八日(火)10時30分より、入園面接を予定しております。(面接は入園後の指導に役立つもので、知識や記憶力をテストするものではありません)

◎入園面接後も入園願書は受け付けております。満三歳・三歳児の入園・見学をお待ちしております。

◎お申し込み・お問い合わせは平日8時30分～18時30分に。土曜・日曜のご来園は事前にご連絡ください。

お問い合わせは

0277-53-5572

12月(布施)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	火	2年修学旅行帰桐 暖房使用開始 3年SSKKS組三者面談(～4日)	中学校期末試験(～3日) 高校3時間授業・三者面談(～4日)	冬の県民交通安全運動(～10日)
2	水	2年生代休(～3日)		英語・文字と数(年長)
3	木			幼交連交通安全教室
4	金	後援会役員会③	中学校3時間授業	成道会・数珠くり(大善寺)
5	土	3年駿台センタープレテスト(～6日) 1・2年SSKKS組GTEC(午後)		
6	日			
7	月	LHR(人権教育) 学年主任会 成道会 珠算競技(～9日)	挨拶運動 頭髪服装指導	リズム(全) 線(年少)
8	火			入園面接(10:30～)
9	水	マイトリー基金拠金日		英語(全) 文字と数(年長)
10	木	漢字練習開始		体育(全) 文字と数(年中)
11	金	校内マラソン大会	校内マラソン大会	12月・1月生まれ誕生会
12	土			
13	日			
14	月	朝礼 教科主任会⑥ 法人役員会②	挨拶運動	リズム(全) 線(年少) 法人役員会
15	火		ミニマナーアップ運動	園外保育
16	水			お茶のお稽古⑥(年長・年中) 英語(全) 文字と数(年長)
17	木	担任宛成績提出 推薦・学奨入試願書受付(～18日)		体育(全) 文字と数(年中)
18	金	教務宛成績提出		クリスマス会
19	土			
20	日			
21	月	LHR 2学期出欠締切 女子制服アフターサービス	中学校成績会議	
22	火	学年別一斉指導 漢字テスト④ 成績会議	高校成績会議	冬至
23	水	天皇誕生日		
24	木	終業式 大掃除 奨学生審査会②	終業式	終業式 お餅つき大会
25	金	入試準備事務① 冬期特別課外授業開始 1K12学習合宿(～27日)	冬期特別課外授業(～28日)	冬休み(～1月7日) 預かり保育①
26	土			
27	日			
28	月	入試準備事務②		預かり保育②
29	火	職員休暇		
30	水	職員休暇		
31	木	職員休暇		

※ 1日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です。また、4日は授業料納入日です。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web www.jutoku.ed.jp Mail office@po.jutoku.ed.jp

発行責任者 野口 秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく